

### 資料3 新大阪駅東口まちづくりの考え方【対比表】

アンケート資料（反映前）	まちづくりビジョン（反映後）
<p>4. まちづくりの進め方（P13）</p> <p>拠点エリアの開発による持続可能なまちづくり</p> <p>拠点エリアの開発誘導により地域と一体的に緩やかに進めるまちづくりにおいて、核となる拠点エリアの開発が先導的なまちづくり検討範囲と周辺地域へ及ぼす波及効果のイメージを図で示しています。</p> <p>新大阪駅東口の未利用地などの活用により核となる拠点エリアの開発を促進し、それにより、西部地域の先導的なまちづくりが進められ、さらに、その周辺地域へ開発効果が波及することを想定しています。</p> <p>この進め方に沿ってまちづくりしていくためには、地域住民、関係団体、行政等が同じ方向に向かって取組むことができるよう、まちづくりの考え方を共有する必要があります。</p>	<p>4. まちづくりの進め方（P13）</p> <p>拠点エリアの開発による持続可能なまちづくり</p> <p>拠点エリアの開発誘導により地域と一体的に緩やかに進めるまちづくりにおいて、核となる拠点エリアの開発が先導的なまちづくり検討範囲と周辺地域へ及ぼす波及効果のイメージを図で示しています。</p> <p>新大阪駅東口の未利用地などの活用により核となる拠点エリアの開発を促進し、それにより、西部地域の先導的なまちづくりが進められ、さらに、その周辺地域へ開発効果が波及することを想定しています。<u>また、官民連携を推進し、未利用地については、民間活力を活用した開発を促進します。</u></p> <p>この進め方に沿ってまちづくりしていくためには、地域住民、関係団体、行政等が同じ方向に向かって取組むことができるよう、まちづくりの考え方を共有する必要があります。</p>
<p>5. まちづくりビジョンの検討（P15）</p> <p>地域とつながり全国へつながる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>周辺地域とつながる歩行者ネットワークにより、当地区を経由した周辺地域とのアクセス性を向上させ、利便性向上と交流を促す</li> <li>東口の南北に位置する交通広場の再編により、周辺地域からのアクセスや乗り換え利便性を向上させるとともに、新大阪駅周辺（十三～淡路）の拠点として地域相互の連携を促す</li> <li>新大阪駅との動線を確保することで、全国につながる地域の特性を強化する</li> </ul>	<p>5. まちづくりビジョンの検討（P15）</p> <p><u>地域とつながり全国とつながる</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>周辺地域とつながる歩行者ネットワークにより、当地区を経由した周辺地域とのアクセス性を向上させ、利便性向上と交流を促す</li> <li>東口の南北に位置する交通広場の再編により、周辺地域からのアクセスや乗り換え利便性を向上させるとともに、新大阪駅周辺（十三～淡路）の拠点として地域相互の連携を促す</li> <li>新大阪駅との動線を確保することで、全国につながる地域の特性を強化する</li> </ul>
<p>5. まちづくりビジョンの検討（P16）</p> <p>新大阪駅東口まちづくりの方向性</p> <p>これら3つの柱をまとめたものをまちづくりの方向性とし、それぞれの柱を一体化させ、人にやさしく、玄関口に相応しいバリアフリーまちづくり構想の実現に向けた、新大阪駅東口のまちづくりを進めていきます。</p>	<p>5. まちづくりビジョンの検討（P16）</p> <p>新大阪駅東口まちづくりの方向性</p> <p>これら3つの柱をまとめたものをまちづくりの方向性とし、それぞれの柱を一体化させ、人にやさしく、玄関口に相応しいバリアフリーまちづくり構想の実現に向けた、新大阪駅東口のまちづくりを進めていきます。</p> <p><u>引き続き、民間活力による未利用地の活用方策など、まちづくりの具体化に向けた検討を進めていきます。</u></p>